

序

広島県地域保健対策協議会（以下、地对協という。）は、保健・医療・福祉に関する事項を総合的に調査、研究、協議し、その結果を保健医療施策に反映させ、もって県民の健康の保持・増進と福祉の充実に寄与することを目的として昭和44年に設立されました。これまで多くの提言を行政等の関係機関に対し発信し、多大な成果を挙げてきた、全国でもあまり類を見ない組織です。

わが国が世界で初めて超高齢社会を迎える2025年問題に向け、医師不足や偏在の問題、救急医療体制や各種疾病対策、また国が推進している地域包括ケアシステムの構築など、解決すべき課題は山積し、日々拡大しております。

このような中、地对協では、広島県全体の保健・医療・福祉の向上を目指す団体の役割として、平成25年度に改めてそのあり方を見直し、①各圏域地对協との連携強化、②広報活動の充実、③県行政への意見具申、④広島県地域保健医療推進機構など関係団体との役割分担の4点を重点目標に掲げ、各種委員会を運営して参りました。

また、時代の変化とともにそのあり方を見直すため、目的を明確化し、20近くあった委員会を12委員会に集約し、より実効性のある有機的な運営を目指しました。

内容としては、なかでも医師の不足や偏在、夜間救急の担い手不足の問題等は、地域が抱える重要な課題であり、今年度はまず現状把握と課題整理を目的に協議・意見交換いたしました。

また広島県が掲げるがん対策日本一の実現に向け、5大がん以外のがんにおけるがん医療提供体制の構築のための連携ツールの作成や、自分はどこで生き、どこで死ぬかを、元気なうちから患者自身が家族や主治医などの医療者とともに考える、きっかけづくりのツール「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の手引き」と「わたしの心づもり」の作成などに取り組みました。

そのほか、特定健康診査の受診率向上や感染症に対する危機管理体制の構築、肝疾患医療の連携推進、大規模災害への対策、多職種連携による服薬管理のあり方などについても協議・検討を行いました。また、近年増大する児童思春期の心の問題への対策や認知症の身体合併症への対策などに向け、精神疾患に関する協議・調査も実施いたしました。

各種委員会活動は、広島県医師会速報の毎月15日号に掲載の「地对協コーナー」にて随時報告しておりますので、ご参照いただけますと幸いです。また、地对協ホームページ（<http://citaikyo.jp/index.html>）にて、過去の報告もご覧いただけます。

引き続き広報の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

このように地对協では、それぞれの専門家が分野を超え、同じ土俵で一致団結して問題解決にあたる場として活発な活動を行ってきており、今後もより明確に、各団体がそれぞれの使命をもった上で、県地对協としての責務を果たすべく邁進していく所存です。

今後とも県民の健康と生活の安全を守るために、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本報告書が良質な医療提供の実現のため、多くの方にご活用いただけることを祈念いたします。

平成26年8月

広島県地域保健対策協議会

会長 平 松 恵 一

目 次

序	平松 恵一	i
平成 25 年度広島県地域保健対策協議会組織図		1
医師不足対策専門委員会		
「医師不足対策専門委員会」報告書		3
救急・災害医療体制検討専門委員会		
救急・災害医療体制検討専門委員会報告書		19
医療体制検討専門委員会		
医療体制検討専門委員会報告書		29
特定健診受診率向上専門委員会		
平成 25 年度調査研究報告書		33
医薬品の適正使用に関する検討特別委員会		
医薬品の適正使用検討特別委員会報告書		67
精神疾患専門委員会		
平成 25 年度精神疾患専門委員会報告書		87
がん対策専門委員会		
がん対策専門委員会報告書		93
肺がん早期発見体制ワーキンググループ		
広島県の肺がんの早期発見体制の構築に向けて		97
放射線治療連携推進ワーキンググループ		
広島県における放射線治療体制の在り方		103
終末期医療のあり方検討特別委員会		
終末期医療のあり方検討特別委員会報告書		107
肝疾患医療連携推進専門委員会		
肝疾患患者フォローアップシステムの検証と肝がん地域連携クリティカルパスについて		117
健康危機管理対策専門委員会		
健康危機管理対策専門委員会 平成 25 年度報告書		125
平成 25 年度広島県地域保健対策協議会役員名簿		171
あ と が き		173